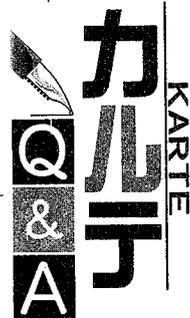


20年ほど前から体にポツポツと赤みが出て、5、6年前からは体全体に赤みが現れ、時々かゆいです。皮膚科では紅皮症と診断されましたが良くなりません。最近漢方を飲んでいますが、温泉にも行けません。良い治療法がありませんか。(75歳、女性)

紅皮症



壽順久医師

紅皮症とは正確には病気の診断名ではありません。定義上、全身の皮膚の9割以上が真っ赤になった状態を指します。体が

原因の疾患を知ること重要

赤いということは、毛細血管が拡張した状態にあるということです。原因となる何らかの病気があってそうになっているため、まずはその原疾患を突き止めることが重要です。

赤いという状態は、毛細血管が拡張した状態にあるということです。原因となる何らかの病気があってそうになっているため、まずはその原疾患を突き止めることが重要です。

赤いという状態は、毛細血管が拡張した状態にあるということです。原因となる何らかの病気があってそうになっているため、まずはその原疾患を突き止めることが重要です。

乾燥、内臓の悪性腫瘍、皮膚の悪性リンパ腫(特に菌状肉症)のいずれかです。実際は患者さん本人から話を聞いて皮膚症状を診察する必要がありますが、相談内容からだけで推測すると菌状肉症の可能性が高いのではないかと思います。

乾燥、内臓の悪性腫瘍、皮膚の悪性リンパ腫(特に菌状肉症)のいずれかです。実際は患者さん本人から話を聞いて皮膚症状を診察する必要がありますが、相談内容からだけで推測すると菌状肉症の可能性が高いのではないかと思います。

で、今回の相談である紅皮症の良い治療法は「各種検査を行って原疾患を突き止め、原疾患に応じた治療を行う」となります。(原皮膚科医会、壽順久氏、西市、ことぶき皮膚科クリニック院長)
 ◇第1、3、4日曜に掲載します。

は、相談内容からだけで推測すると菌状肉症の可能性が高いのではないかと思います。